

## 発達に違いのある子どもたち 発達障がいと感覚統合機能不全

発達障がいの子どもの多くが持つ特性の一つに、「感覚情報処理の困難さ」があります。感覚といえは、一般的には五感と呼ばれる視覚、聴覚、味覚、嗅覚、触覚を想像すると思いますが、平衡感覚（前庭感覚）、温度覚・痛覚（触覚も加えて皮膚で感じる表在感覚）、位置覚・運動覚・振動覚（筋肉・関節などの深部で感じる固有感覚）などの感覚についても、感覚情報を適切に処理できることが、子どもの発達過程においてとても重要であると言われます。

### 「感覚」は脳の「栄養」

食べものは身体の「栄養」となりませんが、栄養とするためには食べたものを「消化」する必要があります。「感覚」は、身体と心に指示を送るのに必要な知識を与えてくれるという意味で脳の「栄養」と言えますが、取り込んだ感覚を適切に情報処理する機能、食べ物で言えば「消化」をする機能が働かなければ、脳の「栄養」とすることができません。

「感覚」の消化不良は子どもの情緒、覚醒、注意、行動のコントロールを乱し、ことばや粗大運動、手先の運動、身体をバランスよく協調させて動かす

機能、姿勢保持などの発達の大きな妨げとなり、子どもが集団の中で安心して楽しく、達成感を味わいながら過ごすことを困難にする大きな要因となります。

### 感覚統合とは

ひとことでは例えば、「外界の様々な感覚情報の交通整理」ですが、いわゆる「普通脳」の人は、呼吸をすることと同じように意識下のレベルで行われています。感覚統合により、脳の中枢にて感覚情報を分類し整理整頓（組織化）がなされ、その組織化された情報を使得って知覚（どのような情報か）し、認知（理解し判断する）し、周囲に適応した行動やコミュニケーション、教科学習へとつなげます。

ただ「普通脳」の人でも、それはいつも完璧に行われるわけではありませんが、発達障がいに伴う「感覚統合機能不全」は、生まれつきその機能を持ち合わせていないため、むしろ感覚情報が正しく整理整頓された経験がない、といった方が正確かと思えます。

### 感覚統合機能不全の子ども達

一般に「感覚過敏」ということばが

よく使われるようになりましたが、感覚統合機能不全の子どもにも起こる行動反応には、「感覚過敏」「感覚回避」「低登録」「感覚探求」（感覚処理モデル、Dunn1997年）といういくつかの種類があります。感覚情報が交通整理されずに入ってくるために、強すぎて過剰に反応し攻撃的になったり、逃げだしたくなったり、逆に弱すぎて気づかず反応しなかったり、その影響をさらに求めて動き回ったり、その影響は子どもの行動に直結しているといっても過言ではありません。大変なのは、その4つの行動反応が子どもの中で混在し、ある感覚刺激には過敏に反応し、別の感覚刺激には探求してしまう、感覚にはいくつもの種類があるのでその一つ一つに別々の反応が出現すると、子どもはどうしてよいかわからずパニックに陥っていくこととなります。

### 合理的配慮の注意点

誤解してはならないのは、あくまで「機能不全」のために「感覚情報の交通整理」ができない状態であるということです。それは、ある感覚情報が交通渋滞にひっかかって、脳が知的な活動をするための情報を受け取れないことであり、知覚する、認知する、行動する能力とは別の問題です。だから、子どもを取り囲む環境の調整を行い、得意不得意に合わせて感覚情報を整理することで子どももの知的活動を促進することはできます。

ただ前述したように、感覚統合機

能不全による行動反応は感覚の種類によって違うため、例えば、聴覚刺激には過敏に反応し、前庭感覚刺激には探求反応がある子どもの場合、静かな中にも動きが必要で、時折回転椅子で回る、トランポリンで遊ぶ、パルーンで揺れるなどの活動がないと、落ち着いて座っていられなかったり、眠くなったりします。

### 追記

3月、このような子ども達にとって難関と言えるのが「卒業式」。体育館のような広い空間の中には沢山の感覚情報が混在しています。他の人と同じ行動をしようにも、感覚情報が多すぎてそれどころではなく、指示を聞き取ることすら難しくなります。脳機能の違いは子どもには責任のないことなので、できないことで自信を無くしたり、辛い経験が元で子どもものトラウマになるようなことだけは避けなければ、学校自体が不安な場所、怖い場所となってしまいます。全ての子どもが安心して生活できる学校は、理解・協力を得られる地域社会があつてこそ成り立つもの、私どもの情報発信がその一助となることを願います。

### 参考文献

「感覚統合の発達と支援」金子書房  
／A・ジーン・エアーズ「著」、岩永竜郎「監訳」「日本版感覚プロファイルユーザーズマニュアル」日本文化科学社  
NPO法人こころ・コミュニケーションの発達支援